



但馬水産技術センターだより



海況情報 (K1935号)

令和元年10月8日
兵庫県立農林水産技術総合センター
但馬水産技術センター 発行

1. 日本海海況予報 (2019年10月中旬～12月)

日本海における海況の予報をお知らせします。

資料1 ・2019年度第3回日本海海況予報 (日本海区水産研究所)

*観測データの出所は但馬水産技術センターほか各府県等。

(コメント: 9月の海況及び10月中旬～12月の見通し)

- ・ 現況 (9月) で隠岐諸島北東に分布する暖水域は、停滞するとともに一部が分離して東進し、能登半島北方に分布する。
- ・ 島根沖の冷水域の張り出しの現況 (9月) の規模は「平年並み」で接岸状況は「やや離岸」であり、10月中旬～12月にかけて規模は「平年並み」で接岸状況は「やや離岸」で経過する。
- ・ 山陰・若狭沖の冷水域の張り出しの現況 (9月) の規模は「平年並み」で接岸状況は「やや接岸」であり、10月中旬～12月にかけて規模は「やや大きく」で接岸状況は「やや接岸」で経過する。
- ・ 対馬暖流域の表面水温の現況 (9月) は山口沿岸、但馬北方から佐渡島北方、男鹿半島～津軽半島西岸で「やや高め」であり、10月中旬～12月にかけて「平年並み」で経過する。
- ・ 対馬暖流域の50m深水温の現況 (9月) は日本海西部で「平年並み」、北部で「やや高め」であり、10月中旬～12月にかけて日本海北部及び西部ともに「平年並み」で経過する。

お問い合わせ先: 兵庫県但馬水産技術センター (鈴木) TEL: 0796-36-0395 FAX: 0796-36-3684
email: nouringc_tajima@pref.hyogo.lg.jp

2019年度 第3回 日本海海況予報

1. 今後の見通し (2019年10月中旬～12月)

- (1) 隠岐諸島北東の暖水域は停滞するとともに、一部が分離して東進し、能登半島北方に分布する。男鹿半島西方の暖水域は勢力を拡大し、佐渡島北方～男鹿半島西方に分布する。
- (2) 島根沖の冷水域の張り出しは、規模は平年並みでやや離岸で経過する。山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは、やや大きくやや接岸で経過する。佐渡島沖の冷水域の張り出しは、かなり小さくやや離岸で経過する。入道埼沖の冷水域の張り出しは、やや小さくかなり離岸で経過する。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、“平年並み”で経過する。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海北部及び西部ともに“平年並み”で経過する。

2. 経過 (2019年6月～2019年8月)

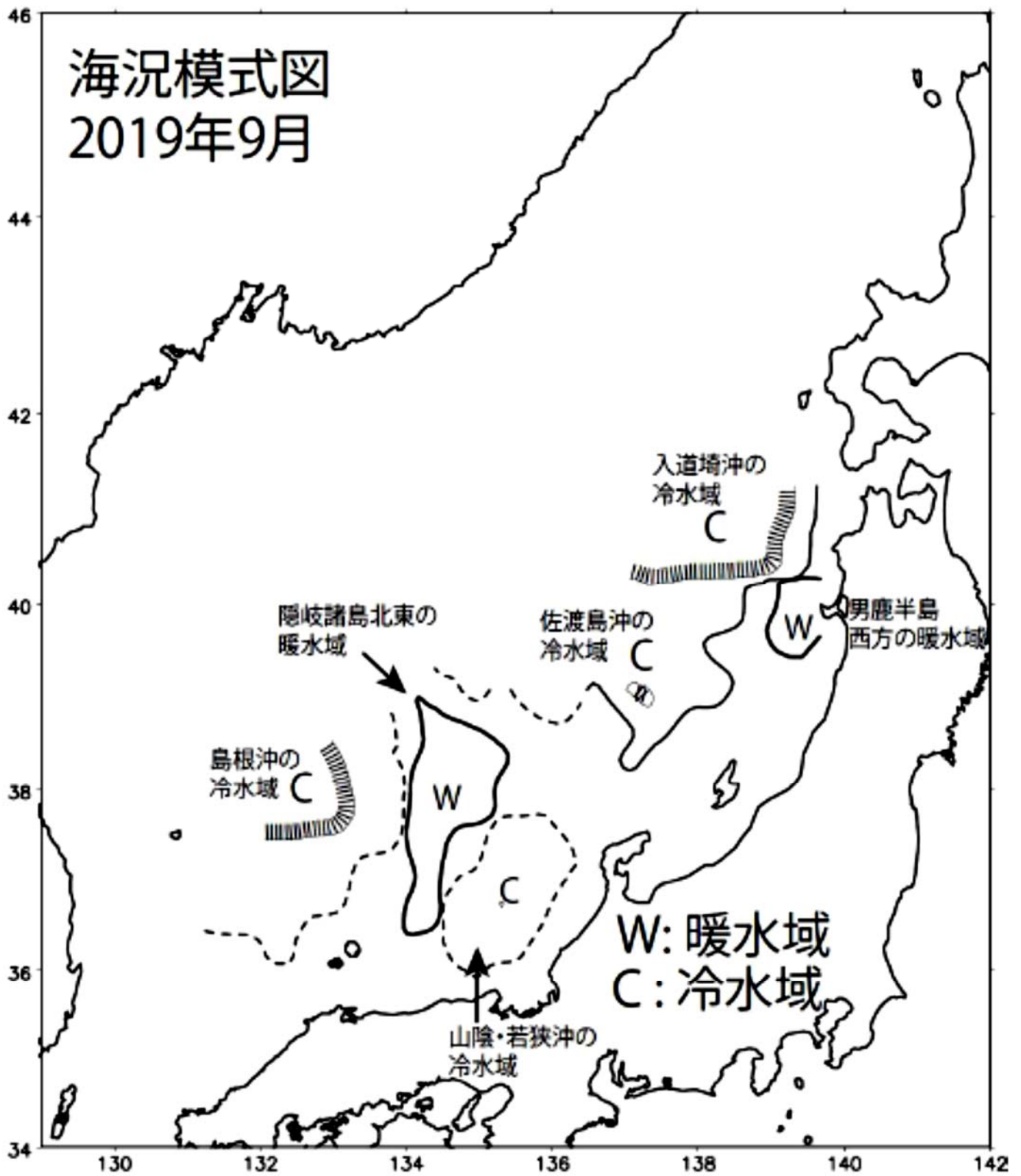
- (1) 6月に隠岐諸島北西で見られた暖水域は7月以降はデータが少なく確認出来ない。6月に隠岐諸島北東に見られた暖水域は8月まで停滞。6月に能登半島北北西と富山湾に見られた暖水域は7月に消滅。6月に佐渡島西岸～佐渡島北方に見られた暖水域は7月に北上し、8月にはデータが少なく確認出来ない。6月に新潟沿岸に見られた暖水域は7月に縮小しつつ停滞し、8月にはデータが少なく確認出来ない。6月に男鹿半島～津軽半島西岸に見られた暖水域は7月に日本海から流失。
- (2) 島根沖の冷水域は、6月は規模はやや小さく接岸状況は平年並み、7月は規模、接岸状況とも平年並み、8月はかなり小さくかなり離岸。山陰・若狭沖の冷水域は、6月はかなり小さくやや離岸、7月、8月は規模、接岸状況とも平年並み。佐渡島沖の冷水域は、6月、7月はやや小さくやや離岸、8月はデータが少なく不明。入道埼沖の冷水域は、6月は規模、接岸状況とも平年並み、7月はやや小さく接岸状況は平年並み、8月はやや大きく接岸状況は平年並み。
- (3) 対馬暖流域の表面水温
6月は、能登半島沿岸、新潟沿岸～山形沿岸、秋田西方、北海道北部沿岸で“はなはだ高め”、山口沿岸で“かなり高め”以外は“平年並み”。7月は、但馬北方から若狭湾北方、能登半島西方、北海道北部西方で“やや低め”以外は“平年並み”。8月は、但馬沿岸、若狭湾北方、富山湾、山形沿岸、石狩湾で“かなり高め”、山口沿岸、隠岐諸島西方、能登半島北西で“平年並み”以外は“やや高め”。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、6月は日本海西部では“やや高め”、北部では“かなり高め”。

3. 現況 (2019年9月)

- (1) 暖水域は、隠岐諸島北東、男鹿半島西方に分布。
- (2) 島根沖の冷水域は、規模は平年並みで接岸状況はやや離岸。山陰・若狭沖の冷水域は、規模は平年並みでやや接岸。佐渡沖の冷水域は、やや小さく接岸状況は平年並み。入道埼沖の冷水域は、規模は平年並みでやや離岸。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、山口沿岸、但馬北方から佐渡島北方、男鹿半島～津軽半島西岸で“やや高め”以外は“平年並み”。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部では“平年並み”、北部では“やや高め”。

(註) 引用符 (“ ”) で囲んで表した、平年比較の水温の高低の程度は以下のとおり

- “はなはだ高め(低め)” : 約20年以上に1回の出現確率である2℃程度の高さ(低さ)
- “かなり高め(低め)” : 約10年に1回の出現確率である1.5℃程度の高さ(低さ)
- “やや高め(低め)” : 約4年に1回の出現確率である1℃程度の高さ(低さ)
- “平年並み” : 約2年に1回の出現確率で、平年値±0.5℃程度の水温



2019年9月の海況模式図